

■宮崎八郎 自由民権家。反骨精神で自由民権運動の先駆者となったが、〈西南戦争〉で西郷方に加わり、若くして戦死。

みやざきはちろう

尊徳報徳論・1851＝ 肥後(熊本県)生れ。郷士宮崎長兵衛の長男，_宮崎民蔵・宮崎滔天の長兄。

ペリー来航・1853＝ 2歳：

桜田門外変・1860＝ 9歳：

生麦事件・・・1862＝11歳：月田蒙斎塾に入門，

薩摩藩士密航1865＝14歳：熊本藩校時習館に入学，

明治維新・・・1868＝17歳：維新後，

戊辰戦争終・1869＝18歳：

初の日刊新聞1870＝19歳：_藩命で東京に遊学，尺振八に英学，西周に万国公法を学ぶ。

明治6年政変 1873＝22歳：

佐賀の乱・・・1874＝23歳：*岩倉具視襲撃の嫌疑を受けて入獄。征韓論に際し，左院に建議，台湾出兵に際して義勇兵を組織し従軍。

初の民間工場1875＝24歳：*愛国社結成大会に参加後，熊本に植木学校を創設し，春月社を起こして民権論を主張。

三つの内乱・1876＝25歳：*上京して海老原穆と交わり，評論新聞社に入社，反政府の論調を張って新聞紙条例にふれ再入獄。

西南戦争・・・1877＝27歳：*西南戦争には平川惟一らの同志と協同隊を組織して西郷方に加わり，戦死した。